

中小
企業

ぐんま

VOL.735
2023.

1

- ▶ 新年挨拶
- ▶ 業界・組合リーダーの年頭所感
- ▶ 新年名刺広告
- ▶ 女子職員研修会



雪の妖精「シマエナガ」の練り切り〈きりゅう菓子処 舟定(有限会社舟定)〉



群馬県中小企業団体中央会

- 新年会
1月24日(火)
前橋商工会議所会館
- クラウドファンディング講習会
2月16日(木)
Gメッセ群馬
- 決算税務講習会
3月2日(木)・7日(火)
ホテル123前橋マールキューリー
- 第75回中小企業団体全国大会
10月11日(水)
宮城県仙台市
仙台国際センター展示場

新年挨拶	2
群馬県中小企業団体中央会会長	吉田 勝彦
群馬県知事	山本 一太
全国中小企業団体中央会会長	森 洋
株式会社商工組合中央金庫前橋支店支店長	藤田 識雄
業界・組合リーダーの年頭所感	6
新年名刺広告	14
中央会FLASH ・女子職員研修会	19
情報連絡員だより	20
インフォメーション	22

めいど in 群馬

〈表紙の写真〉

～ 雪の妖精「シマエナガ」の練り切り ～

桐生の中心商店街にあり、大正時代から続く歴史ある「きりゅう菓子処 舟定」。織都桐生にふさわしい桐生織の金襴を巻いたパッケージの「帯羊羹」(右上写真)やホクホクした自然の味の「芋ようかん」が看板商品。その老舗が、シマエナガをかたどった和菓子を売り出したところ反響を呼び、人気を博している。

シマエナガは北海道に生息する小型の野鳥。もふもふした白い羽毛で包まれた丸いフォルムにつぶらな瞳が特徴的で「雪の妖精」とも呼ばれ、写真集や関連グッズが発売されるなど愛好家も非常に多い。練り切りとして商品化したのも今回話を伺った4代目と和菓子職人の東山迅児社長が、シマエナガ好きの長女から勧められたのがきっかけ。特徴を捉えるのに苦労したが、試行錯誤しながら現在の愛らしい形にたどり着いたとのこと。

2022年8月より販売開始。店のInstagramなどで紹介したところ、シマエナガ愛好家のSNSで取り上げられるなど大きな反響に。店頭だけでなく全国各地から注文が寄せられ、4ヵ月ほどで2,000個以上を販売した。

シマエナガをきっかけに地元だけでなく、県外から来店されるお客様が増えたとのこと。「接客でお客様の感想を直接聞いたり、会話したりすることが楽しい」と話す東山社長。「作ったお菓子を話題にしてもらえるのは非常に嬉しく、職人冥利につくる。これからもお客様に話題にもらえるような美味しい和菓子を作っていきたい」と笑顔で話をしてくれた。

きりゅう菓子処 舟定(有限会社舟定)
桐生市本町6-398 TEL.0277-44-5475
＜群馬県菓子(工)・桐生市本町六丁目商店街(振)所属＞
※当店のお菓子はHPより購入できます。



ホームページ



Instagram



Twitter



Facebook



舟定銘菓の「帯羊羹」(上)と
最近販売を開始した「ねこどら」(下)